

くともに幸せになるために いっしょに考えてみましょう

相手の人の気持ちに気づくことで、その人も周りの人も自分も幸せになれるかもしれません。

みんなが幸せな生活が送れるようにするために何をしたいか、投稿されたメッセージ文から、いっしょに考えてみましょう。

メッセージ文

●みんなが楽しそうに会話しているのを見かけても、私には分かりません。私の会話は『手話』です。手話を少しでも分かっている方がいると会話がはずみます。手話ができなくても、相手の目を見て会話してほしいと思います。

●通勤にバスを利用していただきますが、降り際に近くにいる方から「税金どろぼう」と言われました。税金を払えるくらいの収入のある仕事につきたいです。仕事がついてくてもできない私が、心無い言葉にどれだけ傷つくか考えてみてください。

●まわりに迷惑をかけていることを、しかたないことだとは思っていません。できるかぎりの努力をしたうえで、結果だと分かってもええらると、とてもうれいす。

●決してサボっているわけでも、怠けているわけでもありません。もっと障がいについて知ってほしいです。

●見た目で障がいがあるとわからないので、行動やひとり言などで、視線がいたいことがあります。

●私はお母さんに「〇〇作業所に通っている」とか「〇〇病院に入院している」とか、近所の人に言ったらいけないと言われました。なぜそんなことを言うのでしょうか？

●息子は、人が大好きです。知らない人に「おはよう」とあいさつした時、「気持ち悪い」「バカじゃないの」と言われてしまい今も心が傷ついています。お願いです！せめてあいさつにはあいさつで返してください。

●4年生の男子の親です。わが子も日頃、いろいろなつまづきを経験していると思いますが、それを言葉にできないでいる姿に、親として心が痛みます。

●障がいのことで、娘がいじめられるのではないかと心配しています。本人をよく知ってもらうことが偏見や差別がなくなる鍵だと思います。地域の行事などにいっしょに参加し、娘のことをわかってもらえれば、抵抗感もなくなるのではないかと信じています。

9月は、「障がい者雇用支援月間」です。

メッセージ文は
四日市市人権センター発行
「一緒に考えよう 障がいのある人の人権」より引用

市人権推進課(教育庁舎1階)
☎ 32・2122
FAX 33・3525
Mail: jinkensushin@city.komatsushima.tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (324) 松並敦子・選

母はよく若さは金で買えないよと言っておりたりその歳を越ゆ

赤石町 田原トシ子

《評》若い時は何気なく聞いていた「若さは金で買えない」の言葉を、母の享年を越えてしみじみ思い返している作者だが、今も健康で余生を楽しんでいる。昔から不老長寿は人々の願いであり、平均寿命は延びたが健康寿命を延ばすことが今の課題となっている。若くなることは不可能でもピンコロリを目標に人生を終えたいものである。

飛びゆきて帰らぬ鳥もありぬべし定まりがたき水無月の空

田浦町 西 照子

送り来し友手作りのフクロウの親子は今日も仲良く並ぶ

横須町 三宅 敏恵

鶴千代と言う名の叔母はいつもいつも「鶴千代君じゃ」九十五歳逝く

江田町 深田 伴子

紫陽花は雨に似合いの花なれば梅雨に入りて日々に色増す

櫛淵町 松下 玉枝

緑濃き伊島の山は小高くてイシマササエリ迎えてくれる

田浦町 太田カツミ

予習して大学へ通う週一回ケヤキのみどり屋根となり涼し

小松島町 川人 豊子

黄泉路へは吾が案内すと約したにやさしき友は急ぎ逝きたり

神田瀬町 大西カヲル

六月の花と咲きゆく子の記す丸文字いとしき婚姻届

横須町 山崎 泰子

吐き出してしまえば楽になる言葉なれど一唾に飲み込むグクン

立江町 大西 和美